

二、行動大要

震災ノ日

九月一日正午激震ト同時ニ当地方ヨリスル鐵道、電信、電話等悉ク不通トシテ四圍ノ状況全ク不明トナリシニシテ又熊谷側候所ニ於テ震源地ヲ妻沼―熊谷間ナルヘシト發表セシヲ聞キ東京方面ニ關シテハ何等ノ顧慮ヲ拂ハカリシカタ刺ニ至リ異様魚雲東南ノ空ニ現ハレ夜ニテ赤色ニ變シ人心稍不安ニ陥リレ際初メテ東京火災報傳ハル然レトモ單ニ火災トシテニシテ何等ノ具體的狀報ヲ得ルニ由ナカリキ

東京方面ノ情報ト鮮人ノ聞スル流言及管内被害調査

九月二日朝ニ至リ陸路避難民ノ言ニ依リ東京地方ニ於ケル震火災ノ

0706

狀況ニ端ヲ知ルヲ得事態ノ容易ナラサルヲ感得シ直ニ各管衙公署ト連絡シテ管内農災被害ノ狀況ヲ調査シタル結果比企郡伊草村、川越市、入間郡所澤町、比企郡出丸村及入間郡宗園村等ニ家屋ノ倒潰、人畜ノ死傷等甚キアルニ其他ハ一般ニ被害極メテ僅少ナルコトヲ知リ稍安スル所アリシニ又京漢方面ノ慘狀ハ鐵道ノ閉通ト共ニ刻一刺詳報セシ同時ニ不逞輩人ニ對スル流言蜚語ニ亦深刻ニ傳ヘラルニ至レリ

聯合會會長ヲ集メテ支部方針指示

九月廿午前支部各聯合會會長等ヲ會同シ左ノ指示ヲ與ヘ夫々地方ノ狀況ニ應ジ實施若シハ準備ノ姿勢ヲ執ラシメテ

指示事項

0707

ハ分會ハ各々其地方官公衙並團隊ト協調シ罹災者ノ救護

町村ノ自警ヲ促スヘキコト

又不逞野人其他ノ侵入カ針小棒大ニ流多セラレツテアリ何レモ訛傳ナ
リ而シテ此等ノ檢挙ハ警察官ノ當然任スヘキ職務ナルヲ以テ吾
人ハ匪徒ノ鎮壓ニ助力ヲ乞ハタル場合ニ始テ應スヘキモノナリ其
他ハ一般ニ町村ノ火災盜難等ニ對スル自警ヲ急ラトスヘキコト
ヲ罹災者ノ救護ハ町村當事者ト協定シ出來得ル限り活動セン
コトヲ望ム

人心鎮撫ニ努ム

同日午後ニ至リ不逞野人襲來ノ流言ハ層眞實ナルカノ如ク傳
ハルニ至リレテ以テ支部所在地ヲテハ支部員並其地分會員ヲシテ

池田等が否定せしめ地方の支部員を派し或ハ印刷物を依り人々を
静め努め或ハ諸種ノ確據ナル情報ヲ蒐集シテ之ヲ傳へ或ハ警
察ノ重要會議ニ出席シテ意見ヲ述ぶ等支部ハ全力ヲ擧
げテ日夜活動ヲ繼續セリ
邦人對テ下誤ラレ危害ヲ受テ

九月三日夕一邦人熱心停車場ニ於テ邦人ト誤ラレ群集ノ爲ニ面部ヲ
殴打セラレテ負傷ス熱心分會員之ヲ保護中一邦員越智中佐
副官岩田大尉出張シ分會員ヲ指導シテ當ヲ加ヘ避難所ニ收
容ス

戒嚴令下ニ入ル

九月四日大里郡長ヨリ當支部管内ニ戒嚴令下ニ入り通報ヲ受領ス

0709

鮮人殺サル

同日浦和方面ヨリ熊谷町ニ移動護送シ来リタル鮮人ニ百餘名
中其百數名ハ警察官並熊谷町分會員等ニ保護セラレ自働
車ニ依リ深谷及本庄警察署ニ護送セラル而シテ晝間護送
スルコト能ハカリシ四十餘名ハ夜ニ入ルト共ニ殺氣ヲケル群集ノ爲メニ
又下、佐谷田及熊谷地内ニ於テ悉ク殺サル。本庄警察署ニ向ヒタルモ
ノ亦同シ深谷警察署ニ向ヒタルモハ事ニシテ無事保護セラルニ
至リタリ

三日夜來部員越智中佐副官若田大尉ハ熊谷警察署署長大
里郡長等ト會同シ護送鮮人保護ニ關スル協議ニ與カリ軍隊
招致ノ件等ヲ勸告シテ是當時交通機關ノ不備ト警察力ノ

微弱ナリト及狂熱的群集心理ノ發露下ニ遂ニ斯ノ如キ不穩等
ヲ瞬間的ニ生スルニ至リタリ

軍隊來ル

九月五日午後六時步兵第七聯隊若下中尉以下五名熊谷町ニ
到着史智ヨリ部員及副官出張シテ宿舎其他ヲ關シ斡旋ヲナス
師團司令部ニ特使ヲ派遣ス

九月六日部員秋山大尉ヲ自轉車ニ依リ宇都宮第十四師團司
令部ニ差遣シ管内狀況ヲ報告シ直接連絡ヲナス

北部警備隊配置セラル

九月七日午前步兵第七聯隊矢田中佐以下步兵五中隊トハ隊來
着本部ヲ熊谷町ニ遣テ管内秩父、深谷、寄居、本庄、兒玉町等ニ

0711

所要ノ兵力ヲ配置セラル支部之下連絡シ便宜ヲ興フ
支部長告諭ヲ発ス

同日左記支部長告諭ヲ発ス

左記

事変以來分會爲セル不眠不休ノ活動ハ莫ニ賞讃ニ値スヘク
其ノ連日ノ勞ヲ多トス

今又戒嚴令ヲ布告セラレ管内要所ニ軍隊ヲ派遣セラルニ至リ
民心漸ク安靜セントス分會ノ警備ハ地方ノ情現ニ應シ緩急宜
シクニ從フヘシト雖又専ラ罹災者ノ救護ト民心ヲ鎮靜スル出動軍
隊ニ對スル斡旋トニ努メラレン事ヲ望ム

特使ヲ以テ在郷軍人會本部ト連絡ス

0712

同日特使トシテ法谷曹長ヲ本部ニ派遣シ管内状況報告書
ヲ呈出スルト共ニ尔後ノ活動ニ就テ指示ヲ受ケレム

支部長訓示ヲ發ス

九月八日左記訓示ヲ聯合分會長及分會長ニ與テ

訓示

當管内ハ被害地ニ接スルニテ自カラモ亦被害地ナリ從テ今
次ノ重要ニ處スル分會ノ行動ハ之ヲ律メテヨリハ寧ク各地ノ情
勢ニ應ジテ敏捷ナラシムトテ急務トセリ之レ支部カ量ニ一概方針ヲ
指示シテ其獨斷実行ヲ分會ニ委シタル所以ナリ

之ヲ今日迄ノ實施ニ見ルル分會ノ執リタル機宜ニ處置トシテ會員連
日活動トハ莫ク在鄰軍人ノ本領ヲ侵奪シテ遺憾ナカリシヲ確認シ

0713

感謝之意ヲ教スルモノナリ

今又官民並各團體ト協力ニ依リ秩序漸ク鎮靜セントシ加フルニ軍隊ノ配備ト共ニ分會ノ擔當ニシテ警備ハ之ヲ大ニ輕減スルヲ得テ專ラ力ヲ罹災者ノ救護ニ傾注シ得ルニ至レリ

各縣分分會長ハ先ク其分會ヲ統一シ連日ノ疲勞ヲ匿スルノ邊ヲキ各分會ヲ更ニ激勵シテ別ニ示ス方針ニ基キ罹災者ノ救護ニ全力ヲ擧テ新クナル活動ヲ開始セシ事ヲ望ム
終リニ臨ンテ分會員諸君ノ自重ト健全ヲ祈ル

大正十三年九月八日

帝國在郷軍人會總支部長 瀨川右彌太郎

函之管内聯合分會長ヲ集メテ指示ヲ共フ

九月九日南管內聯合分會長ヲ集メ各支部本部活動狀況
並其意圖ヲ傳達スルト同時ニ支部今後方針並分會活動ニ就テ
説明シテ左記事項ヲ決議シ指示ヲ其ノ

指示事項

一 我支部ハ本日以後統一ニテ勞力及物件ヲ提供シ罹災者救護
ニ全力ヲ注カントス

其ノ方法概シテ如ク定ムトス

聯合分會事業並ニ救濟費トシテ若干ノ金額ヲ分配ス(現金
ハ後日送付ス)

一 人心ヲ鎮靜セシメ輿論ヲ安動ラセハルノ宣傳ヲナスコト

二 各分會毎ニ別紙救護品ノ募集ノ宣傳ヲナシ之ヲ蒐集

0715

ニ努メ各聯合分會毎ニ本部宛送致スルコト
三各聯合分會毎ニ分會員有志以テ編成スル救援團ヲ本部

ニ送ルコト

注意

一從來分會活動ハ可成速カニ具體的ニ報告セラレタシク
ノ如キ問題ノ限リテ迅速ナルヲ望ム

ニ團體トシテ行動スル時ハ左記ノ標旗ヲ用フルヲ可トス

帝國在郷軍人會聯合支部

分會

三地方自治體各種團體トモ協調シ分會員致ノ行動ヲ期シ
後難ヲ醸ササルコトニ注意スヘシ殊ニ金品ノ寄附ヲ強制シ

又ハ之ヲ受授ニ特別ノ配慮ヲ望ム

協議事項

一 救援隊派遣人員ニ就テ

郡別	第一日 出動人員	出動開始 時日	備
大里郡	五〇	十一日	一人員ノ最下限ノ基準ヲ示シタルモノニテ状況 之ヲ許セハ増員ハ隨意トス
比企郡	三〇	十二日	本部ノ要員ハ三〇〇名
児玉郡	二〇	十二日	二 出動救援隊ハ任務ヲ除キ三日間死活動 スルモノトス
秩父郡	七〇	十一日	二 出動救援隊ハ任務ヲ除キ三日間死活動 スルモノトス
入間郡	六七	十一日	二 出動救援隊ハ任務ヲ除キ三日間死活動 スルモノトス
川越市	三	十一日	二 出動救援隊ハ任務ヲ除キ三日間死活動 スルモノトス
計	二五〇		

0717

二 服裝其他ニ就テ

一 標旗ハ木綿中巾ノモノニ長廿四尺

二 各自帽子ヲ白帶ヲ附シ分會名記入シテ

又各自所要ノ糧食、水筒、飯盒、雨具携行シテ

兵出動者ハ可成脚絆ヲ穿テ靴着カハ厚靴足袋使用因事

兵團体若シ個人ノ鐵道乘車者ハ当部發行ノ證明書ヲ携

帶スルコト

救恤被服募集宣傳文配布

同日右宣傳文四万五千枚ヲ全分會ニ配布ス

師團長訓示及支部宣傳文配布

同日師團長訓示千首枚及冷靜穩健ナル我在郷軍人諸

0718

君ヨト題スル支部宣傳文ヲ百枚ヲ余分會ニ配布セリ

在郷傳人會々長ノ告諭配布

同日會長川村元帥閣下ノ告諭ヲ枚ヲ支部ニ印刷余分

會ニ配布ス

農災事変ニ際シ支部ノ急務故極募金ヲ各聯合分會ニ配布ス

豫支支部カ本部ヨリ農災事変ニ對スル若勤救極募金トシテ

漫録セル者ヲ百圓ヲ本日存ク如ク分配ス

支部 参百圓

八間郡 参百圓

川越市 五拾圓

秩父郡 貳百圓

比企郡

港百八拾田

大里郡

参百田

鬼玉郡

港百参拾田

高崎支部ト連絡

同日高崎支部ト連絡シ彼我情報ノ交換及本部ヨリ指示事

項ヲ傳達ス

宣傳文ノ配布

九月十日 秩父宮殿下御活躍ノ状況並分會活動ニ関スル激

勵的宣傳文ヲ印刷シ全分會ニ配布シ且ッ人心安定ニ関スル宣傳

文ヲ警備騎兵隊ノ巡察班ニ托シテ邊陲地方ニ配布ス

特使派遣

同日齊藤曹長ヲ比企郡之間郡ノ兩聯合分會ニ派遣シ
救援隊ノ出動準備ニ関シ指示ヲ與ヘシム
特使派遣

九月七日住谷曹長ヲ比企聯合分會ニ派遣シ救援隊ノ出動後
救恤品輸送ニ関シ指示ヲ與ヘシム

本部ト連絡並出動救援隊ノ状況視察

九月十日部員秋山大尉ヲ上京セシメ本部ト連絡並各聯合分會
ヨリ出シタル救援隊ノ活動状況ヲ視察セシム

救恤品ノ輸送指導

同日比企郡ヨリ本部ニ輸送スル救恤品ノ輸送指導ノ爲住谷
曹長ヲ鳩巣驛ニ派遣ス

會長ノ訓示配布

九月由日本都ヨリ返願セル會長ノ訓示ヲ支部ニ於テ更ニ印刷シ
全分會ニ配布ス

人事相談所ノ開設

九月十五日罹災在郷軍人ノ爲メ人事相談所ヲ開設ス
在郷軍人指導所

同日兎多郡本庄町及兎五町附近分會ヲ指導スル爲メ部員山崎
大尉ヲ派遣ス

東京救援隊派遣中止

同日罹災尖業者救済爲メ在郷軍人救援方中止ヲ東京府
市當局ヨリ本部ニ申出タル爲メ支部救援隊モ本日ヲ以テ作

紫ヲ打切リ引上シム

避難罹災民ノ救助

九月十六日各分會長ニ指示シテ目下各市町村ニ避難シ來リアル
罹災民ニ對シ市町村當業者ト協定シテ救助ニ任スヘキ件ニ就
テ指示ヲ與ヘタリ

在郷軍人指導寸

同日大里郡寄居町附近分會ニ指導セシムル爲メ郡裏山崎大
尉ヲ同地ニ派遣ス

列車轉覆救援隊派遣準備

九月十七日北陸本線下リ列車鴻巣驛附近ニ於テ轉覆シ
死者拾名 傷者二十名ヲ生セリ 熊谷驛長ノ請願ニ依リ

0723

熊谷町附近分會員ヲ以テ救援隊ヲ準備セシカヲ轉覆地附近分會出動シ依リ直ニ復回セシヲ以テ救援隊ノ出動ヲ中止ス

管内分會活動一覽表配布

九月七日管内分會ノ本日迄ニ於ル活動狀況ヲ一覽表トシ分會ニ配布シ益々其活動ヲ促セリ

印刷物配布

九月十九日井深春雄長ヨリ送ラレタル「イヤ高天 皇太后陛下ノ

御乾徳」及「所謂不逞鮮人ト真相」並ニ震災ニ關シ本部派遣者

諸類要旨ヲ印刷シ全分會ニ配布ス

諸情報ノ配布

九月五日陸軍五兵隊ノ活動ノ指況其ノ諸情報ヲ印刷シ
全分會ニ配布ス

管内分會員ノ活動状況配布

九月三日白蟻災ニ關シ管内分會員ノ活動顯著ナルモノ
ニテ収録シタル印刷物ヲ全分會ニ配布ス

本部情報印刷配布

九月十六日本部情報四、五号中ヨリ抜萃シテ印刷シ全分會へ
配布ス

本部情報印刷配布

九月十七日本部情報六、七号中ヨリ抜萃シテ印刷シ全分會ニ配布ス
戒嚴司令官ノ來照

0725

九月二十日白山梨戒嚴司令官來熊を以て部員一同出迎を以て
管内情况ヲ報告ス

戒嚴司令官自働車轉覆

同日帰途に就セルに戒嚴司令官ノ座車自働車、熊谷郊
外又下村に於て道路面下約四尺ノ水田中ニ頼覆ス司令官
並同乗車者何等異状を以て急報に接し部員戒智中依自
轉車ニテ馳せ付て又下村分會員ヲ督勵して頼覆自働車ヲ
引上ぐ支部長亦人々車ニテ現場ニ急行ス

本部情報印刷配布

十月三日本部情報第七号中ヨリ板華に印刷し全分會
ニ配布ス

0726

分會活動印刷配布

同日管内分會中顯著な活動をレタモウヲ収録シ全分會ニ印刷配布ス

本部情報誌宣傳文印刷配布

十月五日本部情報誌第九号中ヨリ抜萃セルモノ及「首都災害ノ跡ヲ觀ミテ」ナル宣傳文ヲ印刷シ全分會ニ配布ス
支部長上京

十月八日支部長在郷軍人会本部ノ招致ニ依リ上京ス
管内全分會長ノ召集

同日以後左記日割ト場所ニ夫々附近分會長ヲ召集シ
支部長及副長出張シテ今次ノ震災事変ニ際シ各聯合分

0727

會社各分會カ非常ナル志勤ヲ示シタル其勞ヲ憐レ且少既
往ノ事蹟ニ鑑ミ將來ニ關スル指示ヲ與ヘタリ

時日	場	所	集合分會長	指導者
十月八日	比企郡役所	松山町外五分會	越智中佐	
同日	比企郡小川町役場	小川町外七分會	同	
十月十日	關郡所澤町役場	所澤町外七分會	同	
十月十日	同郡奈村役場	奈井村外七分會	同	
十月十日	大里郡役所	熊谷町外七分會	瀨戸口大佐	
十月十日	児玉郡役所	本庄町外九分會	同	
同日	児玉町役場	児玉町外七分會	同	
十月十日	秩父郡役所	秩父町外五分會	同	

有香 後藤鹿野町役場、小鹿野町外分會、瀬石大佐

有香 深谷町役場、深谷町外分會、越智中佐

同日 寄居町役場、寄居外分會、同 人

有香 間部坂古町役場、坂古外分會、同 人

有香 間部飯能町役場、飯能町外分會、同 人

本部情報印刷配布

同日本部情報第1号中より抜萃シタルモノヲ印刷シ全分

會ニ配布ス

管内郡市町村長ニ謝状ヲ送

十月昔震災事変ニ際シ在郷軍人ノ活動ヲ援助セシタル勞

ニ對シ全郡市町村長ニ謝状ヲ送ス